

# \*\*\* 今日の健康 (5月) \*\*\*

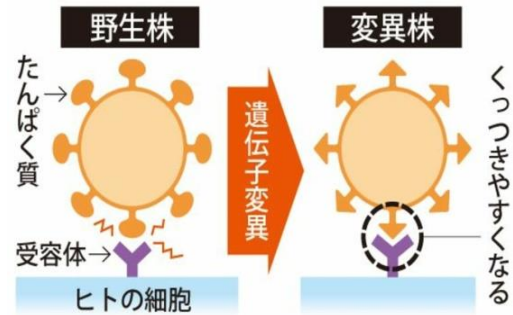
## < コロナ変異株(その1) >

2020年1月、国内で初めて感染が確認されたのは中国・武漢系統の株だった。武漢系統の株は消滅したましたが、同年3月ごろに始まった「第一波」は欧州から流入した株が引き起こしました。そして現在、欧州系統の株が、N501Yの変異株に置き換わりつつあり、さらに重複の変異を持ったインド株が出現し国内入ってきています。

### < 変異株は性格が変わる >

変異株は人の細胞に入り込み、遺伝物質のRNAをコピーさせて増殖する際、一定の割合でコピーミスを起こし、このコピーミスによる変化で変異株が生まれます。

変異によりウイルスの性格が変わると考えられ、変異株は感染力や毒性の変化に伴って薬剤耐性やワクチン耐性を獲得したり、従来株よりも若年層への感染が多い等の特徴を持ったりします。



### < 感染力と毒性 >

通常ウイルスは昨年12月号で記したように、変異によって感染力が強くなると毒性は弱まる反比例の関係にあるとされ、感染力も毒性も強まるとエボラ出血熱のような対応をしなくてはなりません。

感染力が強まっているのは毎日の感染者数からみても分かりますが、毒性も強まっているかどうかは公式な根拠は今のところ何処にも無いので、可能性の話としてメディアを通して世間に広まっているだけだと思います。

東京都の感染症情報センターの数値によると、2月以降重症者数は増えていますが、昨年の流行株に比して重症者を出す割合は、変異株による感染者数が桁違いに多いために、少ない割合であっても数で重症者が増えていると推察されます。

### < 変異株の感染力 >

国立感染症研究所によると英国由来の新型コロナウイルスの変異株の、感染者1人が何人にうつすかを示す「実効再生産数」が従来株と比べて1.32倍と感染力が強く、今年2月以降の新型コロナウイルス感染再拡大の要因の一つが、感染力が強い「変異株」の流行と思われまます。

大阪府や兵庫県の新規感染者の大半は変異株に感染しており感染研は4月初めの時点で、新規感染者の約7割がN501Yの変異株に感染したと推定しています。

N501Y変異は、英国株のほか南アフリカ株、ブラジル株にもあり、東京と神奈川、千葉の3都県では現状N501Yの変異株は全体の1割程度とみられていますが、6月にはN501Yが75%を超える可能性も指摘されています。

あるいは、次号インド株が英国株を凌駕し置き換わりが起きる可能性について。

前澤クリニック 内科・小児科 0422-30-2861

天文台通り多摩信用金庫のななめ裏